

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	臨床研究第3弾: 口腔内疾患と慢性腎臓病(CKD)の関連の検討
研究責任者	腎臓内科 三崎太郎
研究実施体制	聖隷浜松病院腎臓内科 三崎太郎 防衛医大腎臓内科 伊藤誓悟 大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座 仲野和彦 岡山大学学術研究院医歯薬学域(歯)小児歯科学分野 仲野道代
研究期間	2017年4月1日 ~ 2034年3月31日
対象者	2017年4月1日から2024年3月31日の間で腎生検でIgA腎症と診断し、その後耳鼻科で扁桃摘出術を行った患者さん約100人。さらにコントロール群として、耳鼻科で扁桃摘出術を行った成人患者さん約100人。
研究の意義・目的	IgA腎症患者の摘出扁桃において <i>cnm</i> 陽性 <i>S. mutans</i> の表面抗原タンパク Cnm や歯周病菌と、糖鎖異常の関連が明らかになれば、IgA腎症発症のメカニズムの一端を解明されたこととなります。
研究の方法	耳鼻科で扁桃摘出したIgA腎症患者100例、耳鼻科で成人の慢性扁桃炎で扁桃摘出した患者さんの摘出扁桃標本(3 μ m切片)100例を用いて、Cnmタンパク抗体や歯周病菌、APRIL、Toll like receptor、糖鎖異常IgAなどの染色を行い、Cnmタンパクの分布と糖鎖異常IgAの関連を検討します。データベースは独立した番号によって管理した上で、PC(流出予防のためインターネットと非接続)に保存されます。紙媒体のデータは、研究終了後10年保存し、その後すべてシュレッダーで裁断した後に破棄されます。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 腎臓内科 (氏名) 三崎太郎 TEL:053-474-2222(代表) 腎臓内科外来 9:00~17:00 平日